

## 令和3年度 第7回長崎県病弱虚弱教育研究会研修会



7月30日(金)に、長崎県病弱虚弱教育研究会の研修会がリモートで開催されました。今回の研修会では、「病気や障害が多様化する病弱児童生徒の自立活動について」というテーマで、講演や実践発表が行われました。

特別講演では、カウンセリングオフィス長野の臨床心理士で、大村特別支援学校のスクールカウンセラーでもある長野 真基子先生を講師に招いて、「自己肯定感の低い児童生徒への関わり方について」の講義をしていただきました。

長野先生の講義においては、発達という視点から、児童生徒の過去の各発達段階と発達課題を検証することが必要であることを学びました。また、自信には「自己効力感」と「自己肯定感」があり、この二つを高めていくことが重要であり、私たち自身がこれらのことを常に意識しながら、児童生徒との関わりをもつことの重要性を感じました。

実践報告においては、本校の稲垣教諭が、「病弱特別支援学校におけるキャリア教育の充実について」の取組を発表しました。また、諫早東特別支援学校より「心療自立の実際について」、大村特別支援学校より「病弱特別支援学校における児童生徒の実態に基づいた自立活動の指導の在り方」～医療・福祉との連携～についての発表が行われました。

研修で学んだことを今後の指導に生かしていきます。